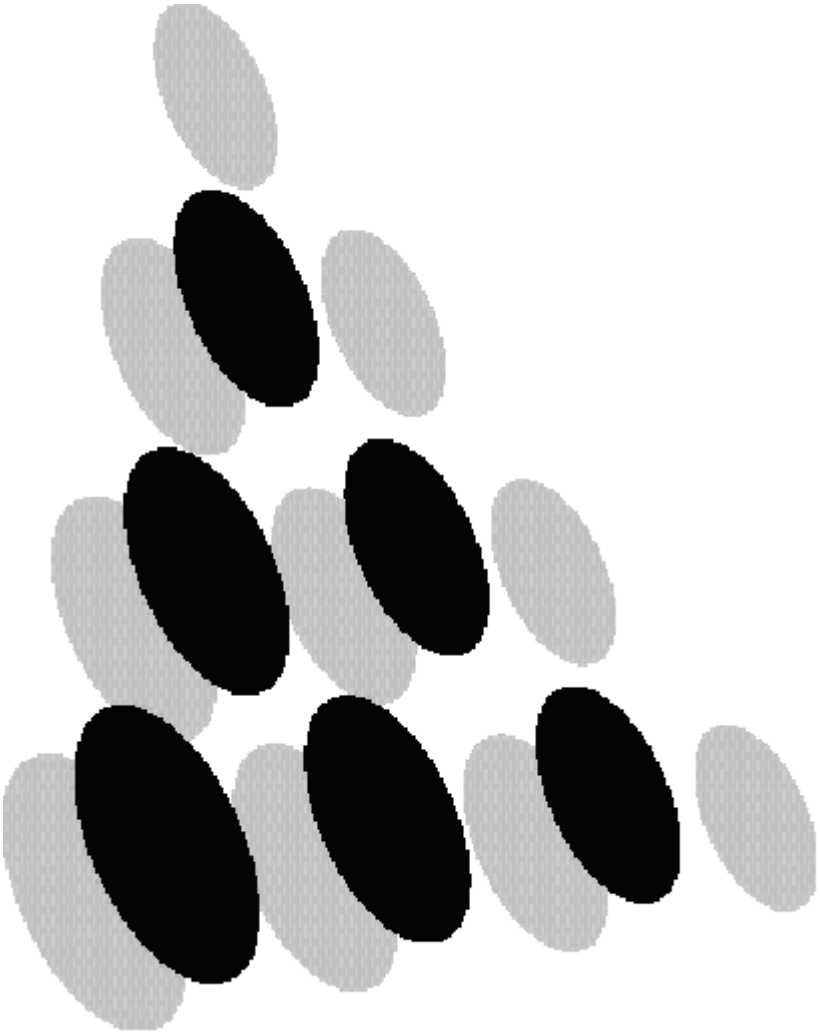
SERVIS™ Drawer Short 440mm

[FD-1500AT Series]

取扱説明書



FUJITSU

本装置は、クラスA情報技術装置です。
本装置を家庭環境で使用すると電磁妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されていない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国におけるRed Hat,Inc.の商標または登録商標です。

その他の製品名等の固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

All Rights Reserved, Copyright ⓒ 富士通コンポーネント株式会社　2009

目次

1.はじめに 1

1.1　表記規則 1
1.2　梱包品の確認 1

2.重要なお知らせ 3

2.1　安全性 3
2.2　廃棄について 6
2.3　本装置の運搬 6

3 取り付け 7

3.1　ガイドレールの取り付け 7
3.2　本製品の取り付け手順 9

4　ケーブルの接続と取り外し 10

4.1　ケーブルの接続 10
4.2　ケーブルの取り外し 11
4.3　ポートの接続 11

5.操作 12

5.1　本装置の操作 12
5.2　モニタの調整 14
5.3　基本的な調整方法 15
5.4　解像度とリフレッシュレート 17
5.5　キーボードの操作 18
5.6　ポインティングデバイスの操作 18
5.7　Hot-key スイッチと Reset スイッチについて 19
5.8　KVMSW をご使用の場合について 19
5.9　本装置の格納 20

6.本装置のお手入れ 21

7.技術仕様 23

8.トラブル対策 25

8.1　画面が表示されない 25
8.2　画面調節ができない 25
8.3　画面がおかしい 26
8.4　マウス、キーボードが動かない 26

1.はじめに

このたびは、サーバ用ラック搭載 SERVIS™ Drawer Short 440mm（以降、本製品または本装置と呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになると、ラック作業空間の効率とサーバ切替機能が大幅に改善されます。
また、コンパクト設計のスライドモジュールの採用で、従来のソリューションに比べてより広くなるスペースを別のコンポーネントに利用できます。
17 型 TFT モニタの解像度は、最大解像度 1280×1024 で、最大表示色 1,677 万色の表示が可能です。
また、日本語キーボードと 3 ボタンポインティングデバイスを備えています。
本製品に接続出来るサーバは、DOS/V(PC/AT 互換)機対応コンピュータです。
本製品は KVM スイッチを接続することができます。
本製品には、専用電源ユニットが同梱されています。

*KVM Switch : Keyboard Video Mouse Switch

1.1 表記規則

この説明書で使用している記号と文字の意味は次のとおりです。

⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があること、および物的損害（本装置またはサーバの損害など）が発生する可能性があることを示しています。

Point この記号のあとの文書は補足説明、注釈、ヒントです。

- 文頭に数字（１，など）がある場合は、順序にしたがっておこなう必要がある操作を示しています。
- 参照する章のタイトルと用語を強調する場合は、カギ括弧（「」）で囲んでいます。

1.2 梱包品の確認

次のものが、梱包されていることをお確かめください。

●本装置本体	× 1
●電源ユニット	× 1
●取扱説明書（本書）	× 1
●電源ケーブル (2.0m)	× 1
●AC コード	× 1
●CRT 複合ケーブル(2.0m)	× 1
●DC ケーブル	× 1
●フロントブラケット×２　取付けねじ×４	
●耐震ゴム(本装置に取り付けられております)	×１

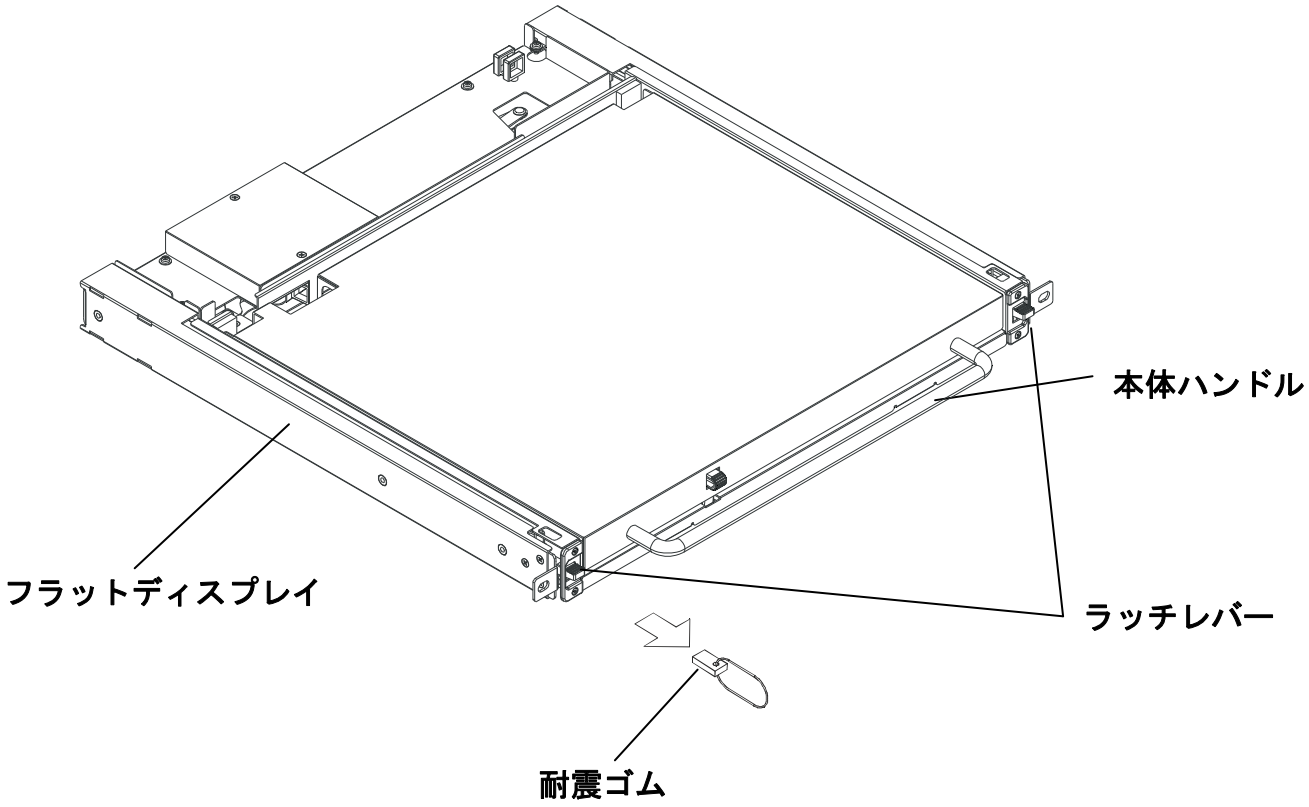
購入時の梱包箱および梱包品を保管しておくことをおすすめします。別の場所に移動するときに必要になることがあります。万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店または弊社担当までお申し付けください。

⚠注意

- 「重要なお知らせ」の安全情報に注意してください。
- 梱包箱から本体を取り出す際、モニタ部ハンドルを持たないでください。モニタ部だけが開き本体を落とす恐れがあります。

Point

- 耐震ゴムは、ラック取り付け時やラックの移動中に本装置がスライドしないように差し込んであります。本装置をラックに取り付けた後も必要になることがありますので、必ず保管しておいてください。
- 耐震ゴムは、ラック取り付け時やラックの移動の際に必ず取付けてください。



耐震ゴム引き抜き図

2. 重要なお知らせ

この章には、本装置で作業する際に注意しなければならない、安全性に関する情報を記載しています。よくお読みのうえ、正しくご使用ください。

2.1 安全性

安全上の注意

本装置は、事務オフィス環境で使用する電子事務用機器などの情報処理装置に関する安全規格に準拠しています。ご不明な点があれば、お買い求めの販売店または弊社担当に連絡してください。

- 本装置を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。ただし、変形及び破損等が有る箱は、使用しないでください、本装置が破損する可能性があります。
- 本装置の取り付け中と使用前に、「技術仕様」の環境条件についての記事と「取り付け」の記事をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 本装置を寒冷な環境から暖かい場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、周囲温度とほぼ同じ温度になってからご使用してください。
- 地域の線路電圧が本装置の使用動作範囲内であることを確認してください。（「技術仕様」と本装置の型式銘板を参照してください）。
- 本装置の電源ケーブルは特別に認可されたものです。改造等は行わずにご使用ください。感電、短絡の原因になります。
- 本装置の電源ソケットまたはラックの電源コンセントの周辺は、プラグの抜き挿しがすぐにできるようにしてください。
- ケーブルが損傷しないようにすべてのケーブルを配置してください。ケーブルを接続したり取り外したりするときは、「取り付け」の該当部分を参照してください。
- 雷雨のときは、データケーブルを接続したり取り外したりしないでください。
- 本装置の内部に異物（ネックレスやクリップなど）や液体が入らないようにしてください。
- 緊急の場合（筐体、部品、またはケーブルの損傷、液体や異物の侵入など）は、ただちに装置からすべてのケーブルをはずして、お買い求めの販売店または担当保守員に連絡してください。
- 本装置を修理できるのは資格のある技術者だけです。資格のないユーザーが本装置を開き誤った修理をおこなうと、感電や火災などの原因になることがあります。

- ケーブルは強く引っ張らず､必ずコネクタ部を持って抜いてください。
- 体調の悪い状態でのキー打鍵や長時間の連続キー打鍵は避けてください。
- 濡れた手での使用は避けてください。
- 濡れた手でコネクタの抜き挿しをしないでください。
- 本装置の上には、液体等入ったコップなど不要な物をおかないでください。

- 改造または修理をしないでください。
- 警告マーク（稲妻マークなど）が付いている部品（電源装置など）の分解､取りはずし､交換は､資格のある人以外はできません。
- 「モニタの調節」で指定されている解像度とリフレッシュレートしか設定できません。それ以外の設定を行うと、モニタが損傷することがあります。ご不明な点は、お買い求めの販売店または弊社担当にご連絡ください。
- 周辺機器用のデータケーブルは､干渉を防ぐために適切な絶縁処理が必要となります。
- 線路電圧を切断するときには、設置電源コンセントから電源プラグを抜きます。
- サーバを清掃するときは、「本装置のお手入れ」にしたがってください。
- 本説明書は本装置とともに大切に保管してください。本装置を第三者に譲渡する場合は、本説明書も譲渡してください。
- 本装置を引き出した状態で、脚立代わりに使用したり、よりかかったりすると、ラックが転倒する可能性があるので危険ですので､おやめください。
- 本装置を引き出した状態では､本機の角などにぶつけると危険ですので十分注意して操作してください｡本装置を使用しない場合や本装置以外のサーバや周辺機器など操作する場合には、本装置をラック内に格納することを推奨します。
- 本製品には有寿命部品（ＬＣＤなど）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。
- 本製品を安定した状態でご使用になれる期間（耐用年数）は５年が目安です。
  ※１日８時間で月当たり２００時間動作、使用環境が２５℃を想定した場合の目安です。
  ただし、有寿命部品を除きます。

⚠注意 ご使用上のご注意

ご使用の前に［ご使用上のご注意］をよくお読みの上、正しくご使用ください。ここに記載の注意事項はユーザー様への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

- 各コネクタの抜き差しはサーバの電源が OFF になっていることを確認してから行ってください。また、静電気にも充分注意し放電してから行ってください。静電気が貯まったままや、電源が ON のまま抜き差しすると、サーバまたは本機の故障の原因となる場合があります。その場合の故障は保証対象外ですので、ご了承ください。

●本装置に接続できるサーバは、DOS/V(PC/AT 互換)機です。但し、各サーバは以下のキーボード、マウスコネクタ及びモニタコネクタを装備した機種です。それ以外の機種ではご使用になれません。

·DOS/V ： ミニ DIN6P メス (PS/2 キーボード、PS/2 マウス用)各 1

： Mini D-SUB 15P メス(モニタ)

● サポート外の特殊仕様のキーボード(プログラマブル／ワイヤレス)／マウス(ワイヤレス等、専用ドライバ含む)は動作しませんので、適合するものをご使用ください。

● 本装置のキーボードコネクタは PS/2(6 ピン ミニ DIN メス)用です。ただし、特殊仕様のキーボードは接続できません。

● 本装置のマウスコネクタは PS/2(6 ピン ミニ DIN メス)用です。ただしシリアルタイプのマウスや特殊マウスは接続できません。

● PS/2 ホイール付マウス等のスクロール機能を持つマウスをご使用になる場合、サポート外のスクロールは、正常に動作しないこともあります。また、サポートソフトによってはスクロールが正常に機能しなくなる場合があります。

● キーボードとマウスのコネクタ(PS/2)は同じ形状ですので、色等を確認し正しく接続してください。無理に差し込んだり間違って接続すると、動作しないばかりか故障の原因となる場合があります。

● コンソールのキーボード、マウスと各サーバの設定は正しく設定してください。設定が間違っていると正常に動作しません。

● 各ポートのケーブルは、同じサーバ内で接続してください。モニタとキーボード、マウスのポート番号が違っていると正しく選択できません。

● DVI(Digital Video Interface)対応ディスプレイは接続できません。

● 本装置のモニタ以外に接続するモニタは、マルチスキャン対応のディスプレイをご使用になり、解像度を正しく設定してください。KVM Switchがサポートする解像度は、1600×1200、リフレッシュレート75Hzまでです。また、ご使用のモニタや解像度の設定によっては切替後表示がずれることが有ります。その場合はモニタかビデオカードで設定してください。

● 高解像度や接続環境でのゴーストやニジミ等の画質劣化は、モニタケーブルやビデオカードが影響している場合が有ります。また、ディスプレイとビデオカードの組合せによっては、正常に表示出来ない場合も有ります。ビデオカード等の接続環境を変更してみてください。

● モニタケーブルのコネクタは Mini D-SUB 15P です。コネクタの向きを確認し、固定ネジで確実に固定してください。確実に接続されませんとトラブルの原因となります。

● カスケード接続は当社製KVM Switchだけで行なってください。他社製の切替器とは接続できません。

● カスケード接続数はマスターも含め最大２段接続です。3段以上の接続はできません。

2.2 廃棄について

本装置は、金属、プラスチック部品および、液晶蛍光管の中には水銀を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示にしたがってください。

2.3 本装置の運搬

⚠ 注意	本装置を別の場所に運搬する際は、購入されたときに本装置が入っていた箱か、衝撃や振動から製品を保護できる箱を使用してください。運搬処理がすべて完了するまで、開梱しないでください。

3 取り付け

⚠ 注意

- 「重要なお知らせ」の安全情報をよく読んでください。
- 本装置は、設置環境を守ってご使用ください（「技術仕様」を参照してください）。ほこり、湿度、熱を避けてください。必要な場合は、取り付けを２ 人以上でおこなってください。
- 本装置とガイドレールの間に、指や手を挟まないように注意してください。

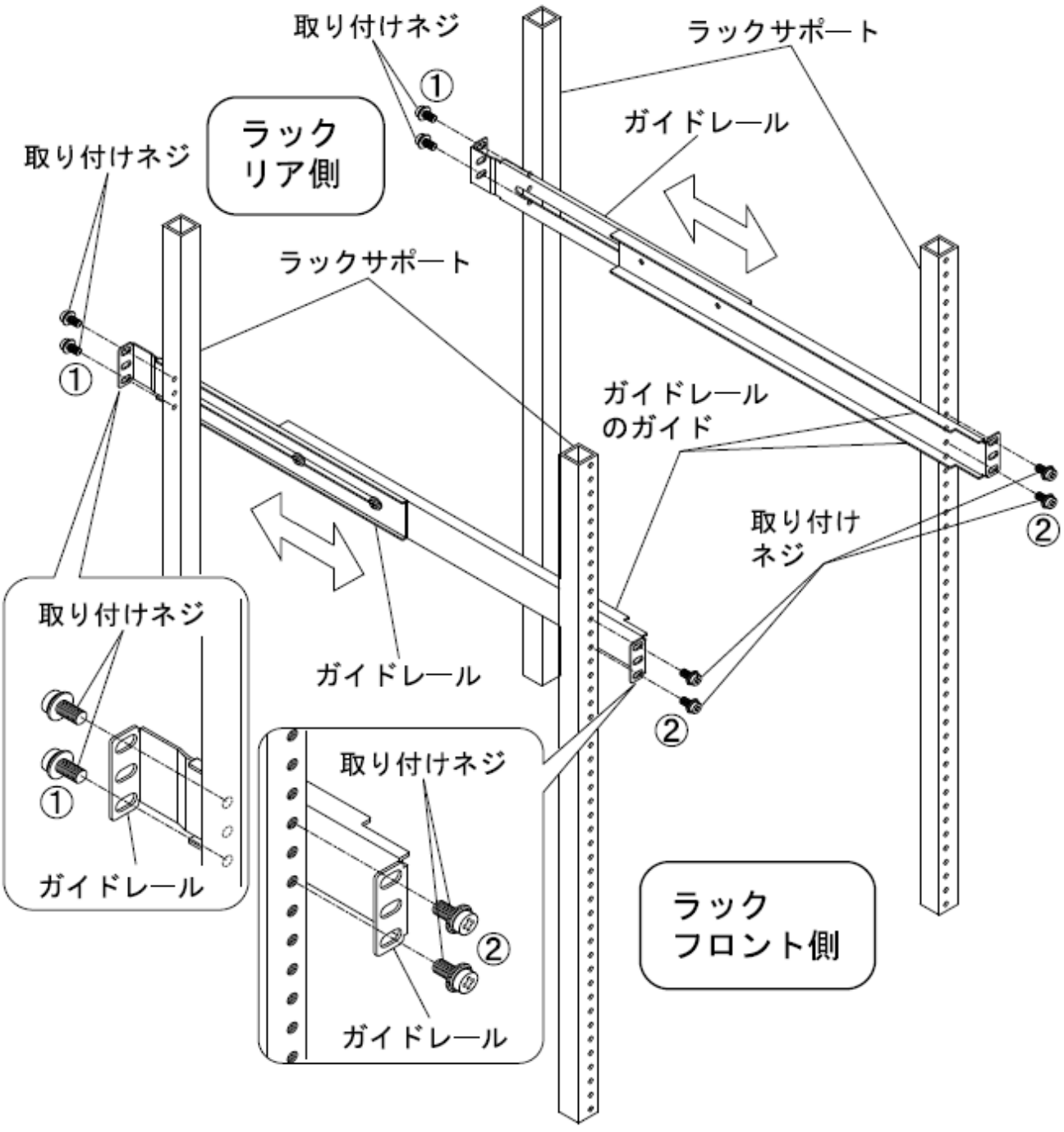
3.1 ガイドレールの取り付け

Point

ガイドレールは、本装置が載せられるように、ガイドのある方が前方です。作業のために、＋ドライバーが必要になります。また、ラックによっては付属品以外の取付けねじが必要になる場合があります。その場合は、ラックに適合した取付けねじをご用意下さい。

① ガイドレールのガイドを前方、内側を向くように取付けます。
リア側のラックサポート外側にガイドレールを合わせ、ガイドレール上下の穴を取り付けねじで固定します。
② フロント側のラックサポート外側にガイドレールを合わせ、ガイドレール上下の穴を取付けねじで固定します。

● 他のガイドレール取り付けについてはガイドレールに同梱されている取り付け説明書を参照ください。


取り付けネジ
①
ラックサポート
ガイドレール
ラック
リア側
取り付けネジ
ラックサポート
①
ガイドレール
のガイド
取り付け
ネジ
②
取り付けネジ
ガイドレール
取り付けネジ
①
ガイドレール
取り付けネジ
②
ガイドレール
ラック
フロント側

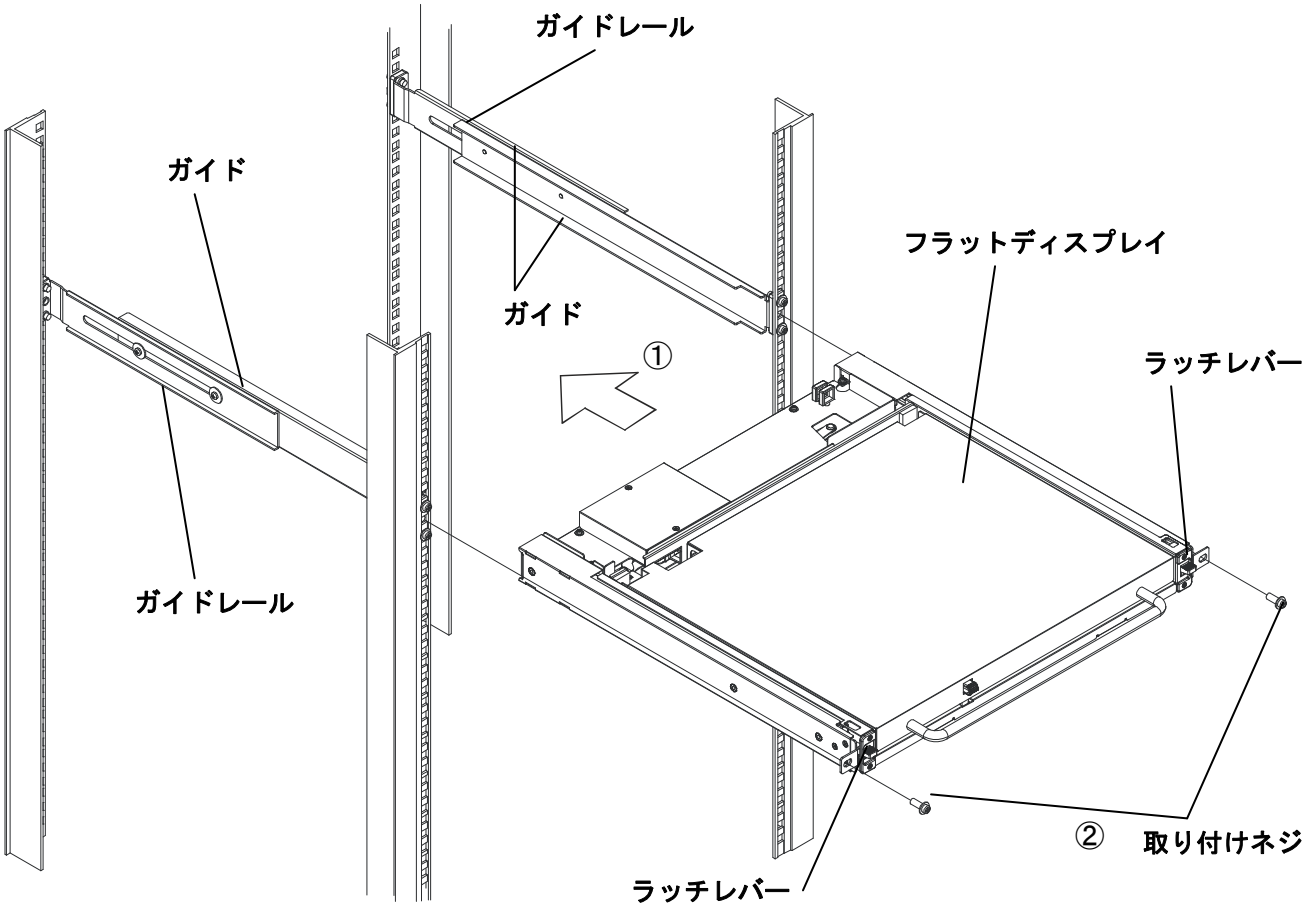
ガイドレール取付け図

3.2　本製品の取り付け手順

⚠ 注意

・ラッチレバー[6.1 項参照]が解除されないように注意してください。ラッチレバーが解除されていると本装置がスライドするおそれがあります。
・ガイドレールに本装置が入らないときや重い場合は、２人以上で持って入れてください。
・本装置を持ち上げるときはモニタ部ハンドルをもたないでください。モニタ部だけが開き本体を落とすおそれがあります。

① ガイドレール前方から本装置を入れます。
② 本装置は、止まるまで押し込み、前面２箇所を取り付けネジで固定します。



コンソールドロワー取り付け図

4　ケーブルの接続と取り外し

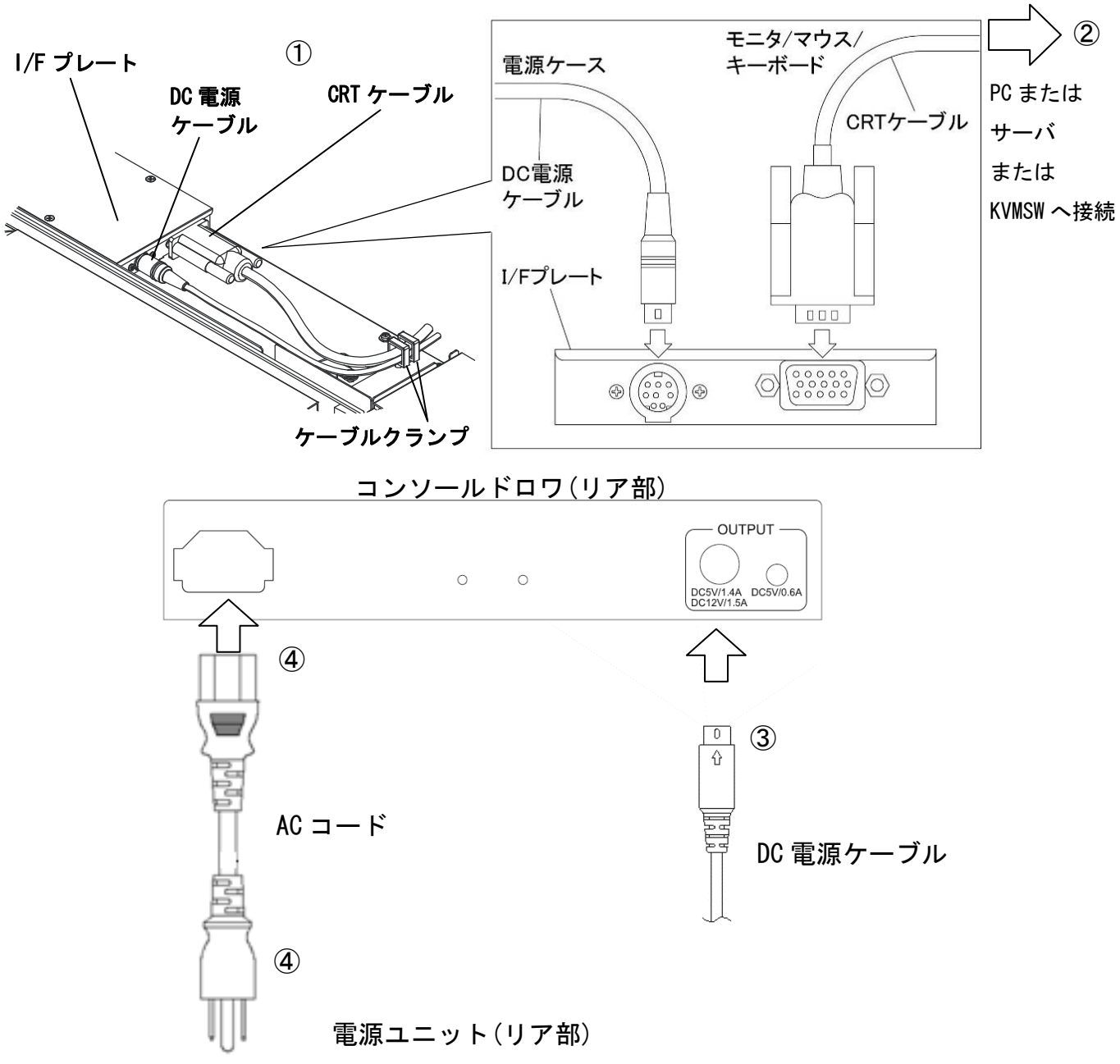
4.1　ケーブルの接続

● 影響を受ける装置すべての電源プラグ(電源ユニット側は未接続)を
電源コンセントから抜きます。

① CRT ケーブル(装置側)、DC 電源ケーブルをそれぞれの装置に接続します。
② CRT ケーブル(反対側)を PC またはサーバまたは、KVMSW に接続します。
③ DC 電源ケーブル(電源ユニット側)を電源ユニットに接続します。
④ AC コードを電源ユニット、電源コンセントに接続します。

注意

・電源ユニット部のミニDIN8コネクタには本体付属の電源ケーブル以外を接続しないでください。接続した場合は機器が破損する危険があります。



4.2　ケーブルの取り外し

影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜いてから、各ケーブルを取り外してください。

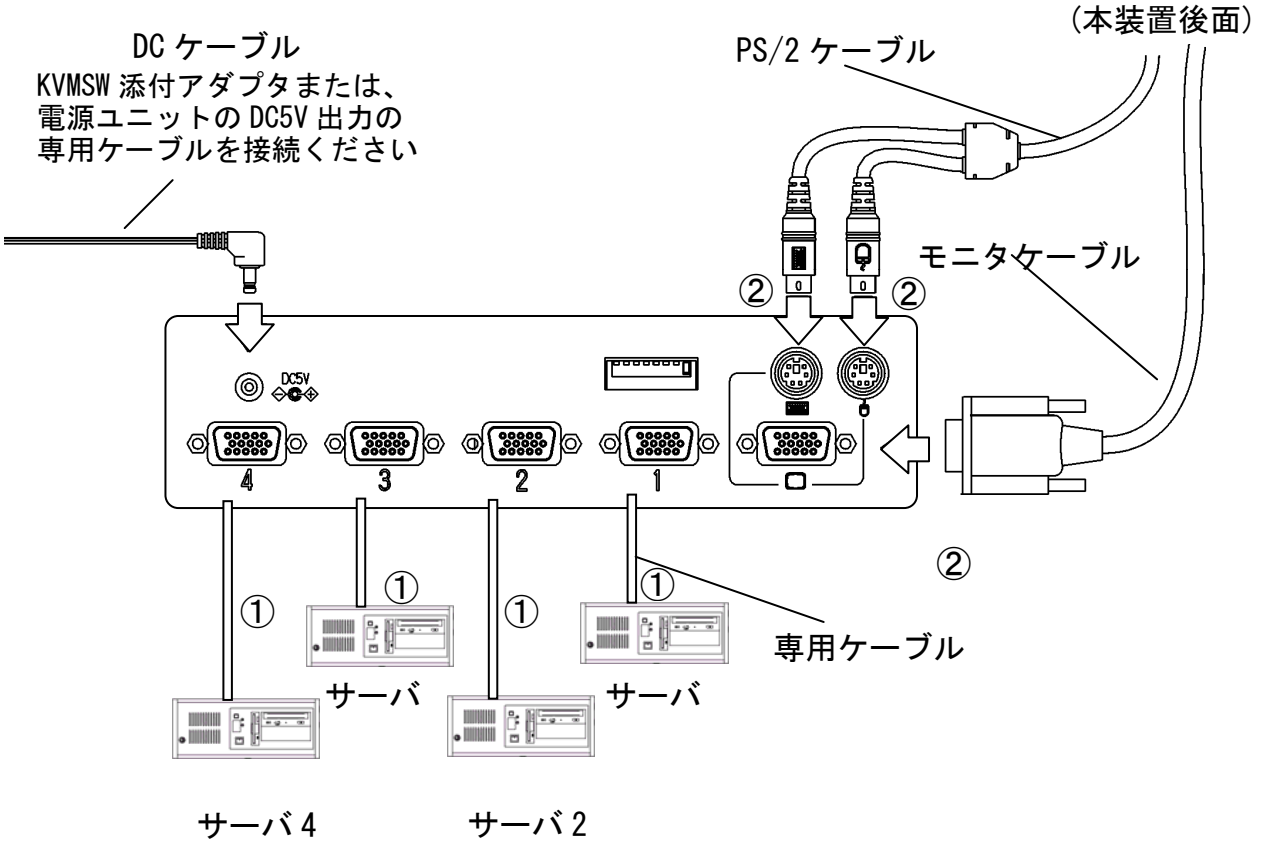
4.3　ポートの接続（本装置に KVM スイッチがある場合）

⚠ 注意

・ポートの接続、取り外し時は、「ケーブルの接続と取り外し」の注意に準じてください。また、ポートが影響を受ける装置の電源を切っておこなってください。
・KVM スイッチの取扱説明書もあわせてよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ポート数のサーバが接続できます。

①サーバのキーボードポート（PS／2 または USB）、マウスポート（PS／2 または USB）、モニタポート(VGA)と KVM スイッチのポートを専用ケーブルで接続します。
②本装置の PS/2 ケーブル(キーボード､マウス)､モニタケーブルをそれぞれ CONSOLE のキーボード、マウス、モニタポートに接続します。
（マウスをキーボードより先に接続してください。）



KVM スイッチのケーブル接続図

5. 操作

⚠ 注意

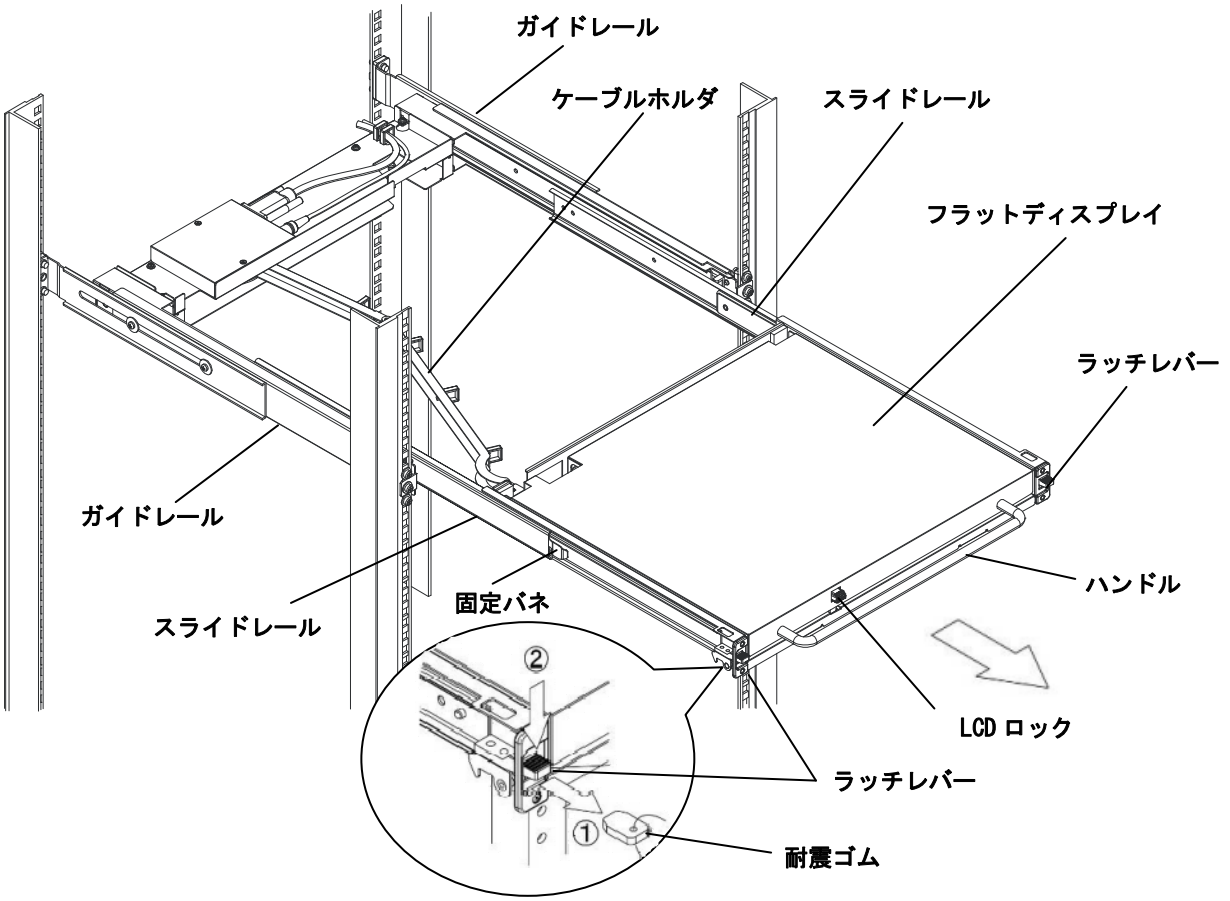
本装置は、スライドレールがロックされるまでゆっくり手前に引き出してください。
ロックされていない場合、もたれ掛かると本装置は動いてしまいます。
スライドモジュールの引き出し、押し込み時やＬＣＤの開閉時などを実施する際には、手を挟まないよう十分注意して実施してください。

5.1 本装置の操作

① 耐震ゴムを引き抜いていない場合は、引き抜いてください。
② 本装置前面左側のラッチレバーを押し下げ、ハンドルを持って本装置を引き出します。
本装置本体は、カチッと音がするまで引き出してください。

Point

本装置が、前面部２本の取り付けネジでラックにきちんと固定されていることを確認してから、引き出してください。

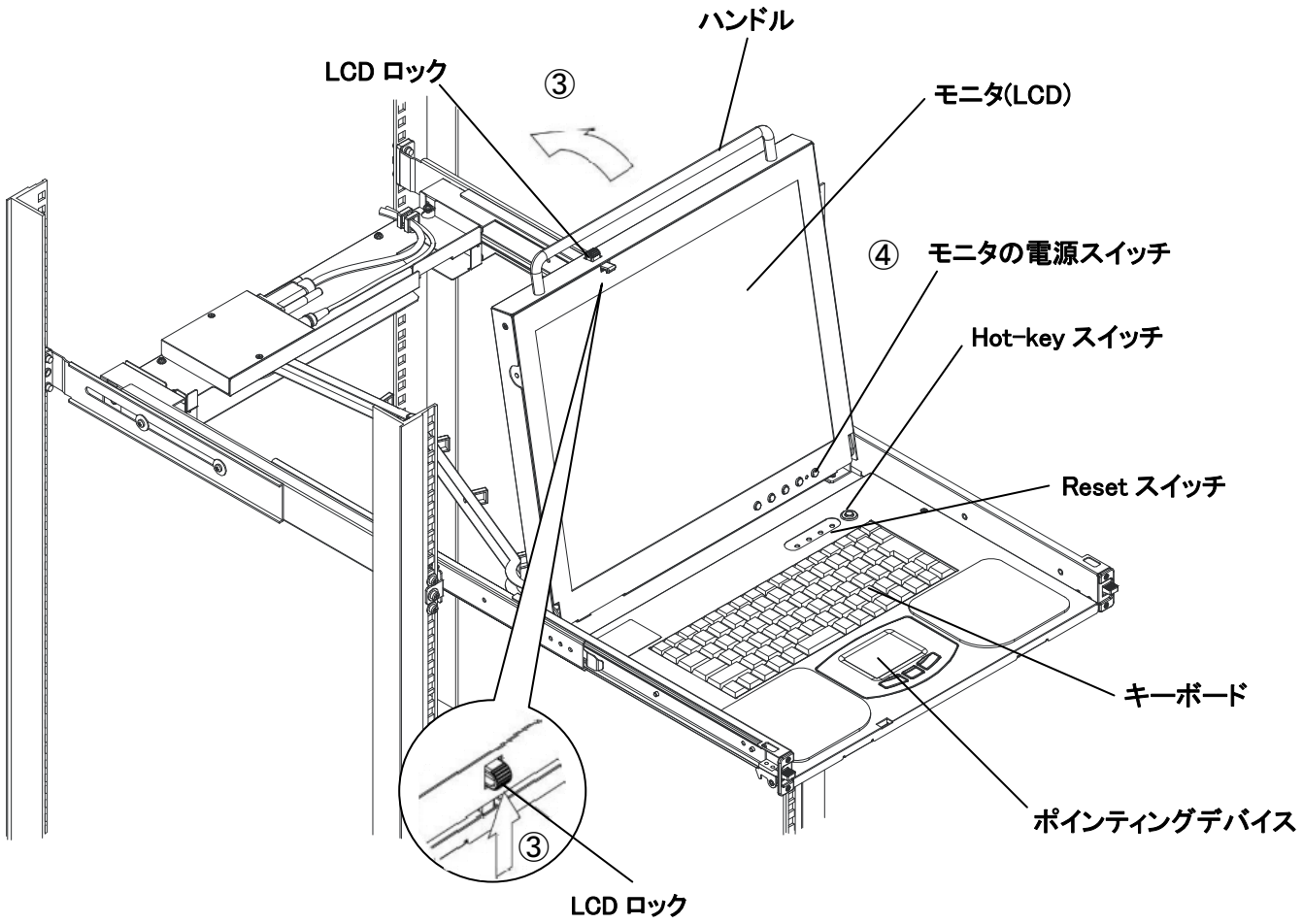


スライドモジュール引き出し図

③　LCD ロックを上方向に押し、ロックを解除し、
ハンドルを持ちモニタを上側に開きます。

④　電源ボタンを押して、モニタの電源を入れます。
接続してあるサーバの電源を入れます。

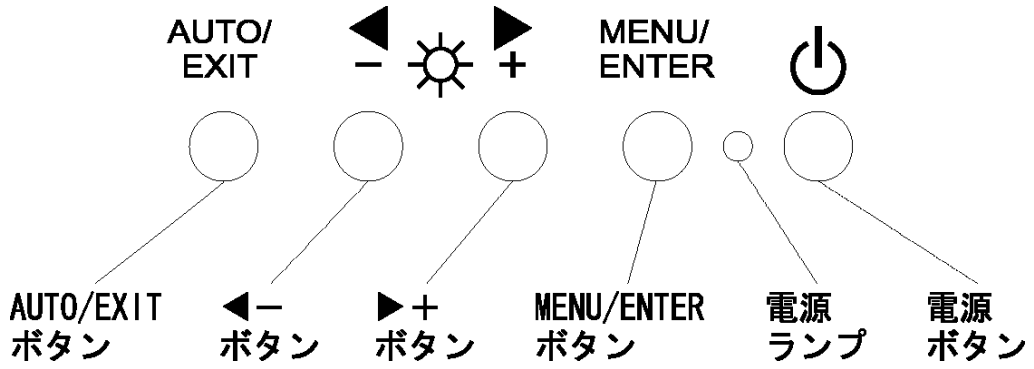
Point　モニタ部は完全に引き起こしてください。



モニタ部開閉図

5.2 モニタの調整

モニタ部には、1つのLEDと5つのボタンがあり、右から順番に説明します。



電源ボタン： モニタの電源を入れるときに押します。また、電源が入っているときに押すとモニタの電源が切れます。

電源ランプ： モニタの電源が入っているときに青色に点灯し、省電力状態の時は橙色に点灯します。モニタの電源が切れていると消灯します。

MENU/ENTERボタン： メニュー画面の表示、調整項目の決定、設定値を保存する場合に押します。

▶＋ボタン： 右方を選択するときや値を増やす方向に変化させる場合に押します。

◀－ボタン： 左方を選択するときや値を減らす方向に変化させる場合に押します。

AUTO/EXITボタン： メニュー画面の消去、調節項目の取り消し、設定値の取り消し、自動調節する場合に押します。

Point メニュー画面を表示させずに、▶＋、◀－ボタンを押すと画面の明るさ(BRIGHTNESS)を直接調整することができます。
メニュー画面を表示させずに、AUTO/EXITボタンを押すと自動調整(POSITIONとFOCUS) を行います。

Point 画面のノイズは設定メニューのPhase及び Clockの調整で除去できます。

⚠ 注意

本装置を引き出しているときやモニタ部を開いていて使用している場合に、強い力を加えると、ラックが転倒するおそれがありますので注意してください。

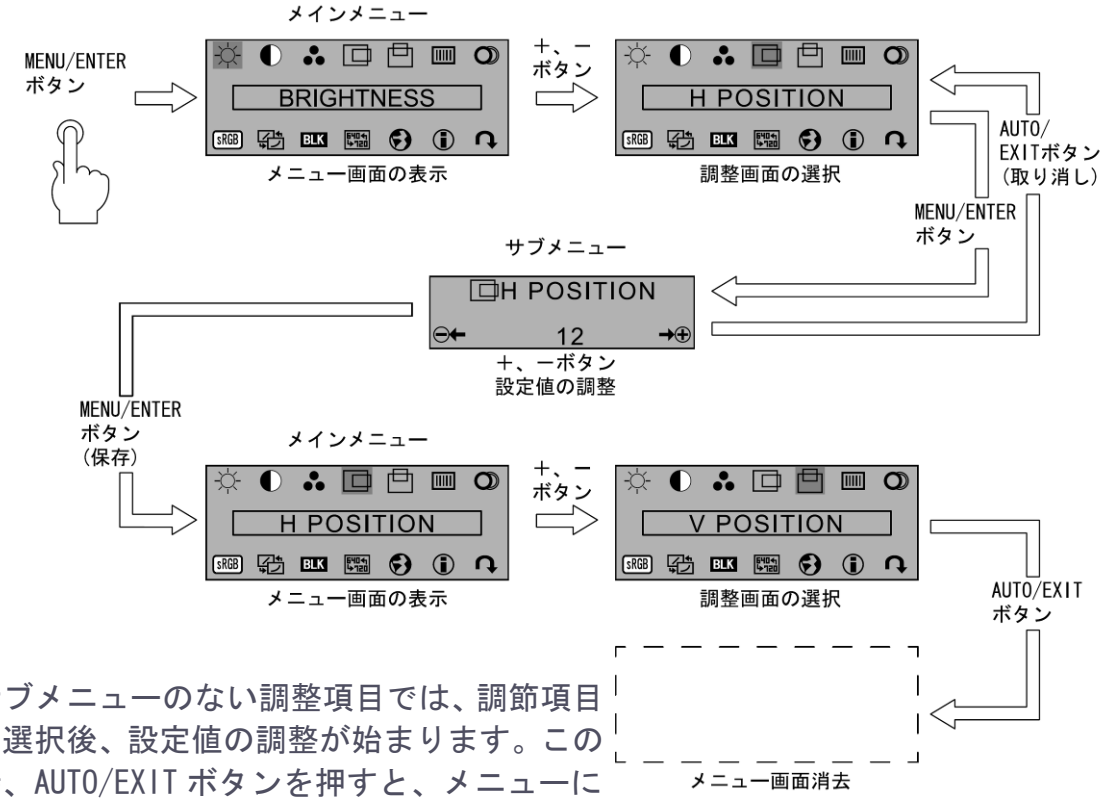
モニタ画面を強く押したり、硬いものでこすったり、磁石などを近づけないでください。破損の原因になります。

⚠ 注意

本装置を引き出した状態では、本機の角などにぶつけると危険ですので十分注意して操作してください。

本装置を使用しない場合や本装置以外のサーバや周辺機器など操作する場合には、本装置をラック内に格納することを推奨します。

5.3 基本的な調整方法



サブメニューのない調整項目では、調節項目の選択後、設定値の調整が始まります。この時、AUTO/EXIT ボタンを押すと、メニューに戻りますが、設定は保存されません。

ただし、メニュー画面を表示させずに、＋、　－ボタンを押した時の画面の明るさ(BRIGHTNESS)調整の場合は、設定値を変更する毎に保存されます。

調整項目

記号	英語表示	調整内容
	BRIGHTNESS	画面全体の明るさを調整します。
	CONTRAST	画面全体の濃淡の強さ(コントラスト)を調整します。
	COLOR	画面の表示色を調整します。固定値の設定や赤 / 緑 / 青の色合いを個別に設定できます。
	H POSITION	表示位置を左右に調整します。
	V POSITION	表示位置を上下に調整します。
	CLOCK	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。
	FOCUS	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。
	SRGB	sRGB の ON/OFF の切り替えができます。
	PICTURE MODE	コントラストカーブの切り替えができます。中間調での表現を変えることができます。
	BLACK LEVEL	黒色のオフセット基準を任意に設定できます。
	TEXT MODE	DOS 画面表示時の解像度を設定できます。英語 DOS 時は、720 × 400 を選択してください。
	LANGUAGE	表示言語を変更します。 （英語、ドイツ語、イタリア語、フランス語、スペイン語）
	INFORMATION	現在表示されている解像度、垂直同期周波数及び各種調整項目（一部を除く）の設定値を表示します。
	RECALL	ご購入時の設定値に戻します。 ・ READJUSTING 全項目を戻します。 ・ GEOMETRY 表示している解像度（モード）の画面位置､クロック及びフォーカスを戻します。 ・ COLOR ブライトネス、コントラスト、黒レベル、及びカラー調整を戻します。

5.4 解像度とリフレッシュレート

解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	モード
640 X400	31.5	70	VGA 400 LINE
640X480	31.5	60	VGA Standard
	37.5	75	VESA
	37.9	72	
720X400	31.5	70	
800X600	35.2	56	
	37.9	60	
	46.9	75	
	48.1	72	
1024X768	48.4	60	
	56.5	70	
	60.0	75	
1280X1024	64.0	60	
	80.0	75	
1152X900	61.9	66	Sunコンポジット
	71.8	76	
1280X1024	71.4	67	

LCD の表示に関する注意事項

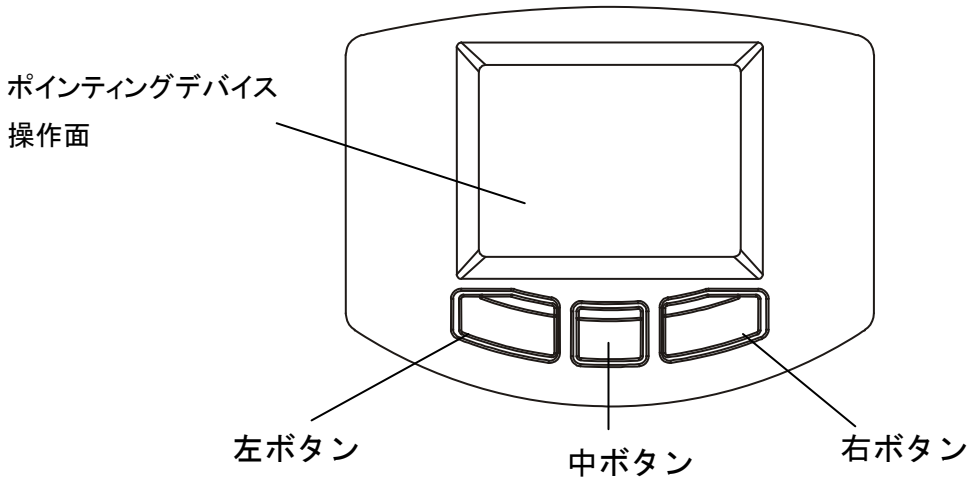
・電源投入直後やOS 起動時または終了時には画面の表示位置がずれたり、画面が点滅したり、乱れたりすることがありますが故障ではありませんのでそのままご使用ください。
・1280 ×1024 以外の解像度もすべてフルスクリーン表示となります。
・1280 ×1024 以外の解像度では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったりすることがあります。これは、擬似的に拡大表示（フルスクリーン表示）しているためであり、故障ではありませんのでそのままご使用ください。
・画面上の一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合がありますが、液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありませんのでそのままご使用ください。

5.5 キーボードの操作

Ｆｎ キーとの組み合わせにより、省スペースながらフルキーボードと同等の操作が可能です。

5.6 ポインティングデバイスの操作

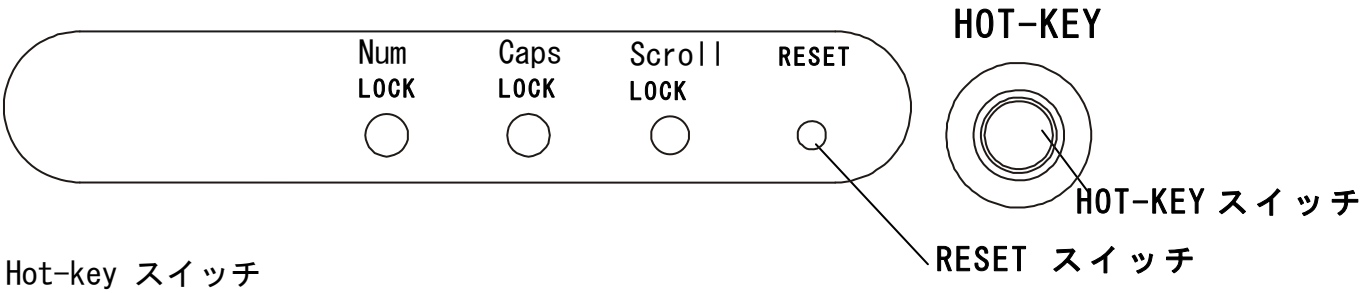
指で操作面上を軽く滑らせる、また軽く叩く事で操作してください。
ポインタの移動：操作面上を動かしたい方向に軽く滑らせるだけでＯＫ です。
シングルクリック：操作面を軽く一度叩く、または左ボタンを一度クリック。
ダブルクリック：操作面を軽く二度叩く、または左ボタンを二度クリック。



注意

① １ 本の指で操作するように設計されていますので、以下のような場合は動作しません。
   1) 手袋をした指で操作
   2) ペン、ボールペン、鉛筆などの操作
   3) ２ 本以上の指での操作
   4) その他の異物を操作面に載せたままでの操作
② 操作面に水滴が付着していたり、結露していたりする場合、濡れた指、汗で湿った指で操作した場合、正常に操作できない場合があります。十分乾燥させるか拭き取ってから使用してください。
③ 傷の原因となりますので、ペンなどの先のとがった金属で操作しないでください。

5.7 Hot-key スイッチと Reset スイッチについて



Hot-key スイッチ

【Ctrl】＋【Alt】＋【Shift】キーのMake/Break コードを出力します。また、ＫＶＭスイッチを接続した場合は、ホットキーモードになります。

Resetスイッチ

キーボード、ポインティングデバイスにReset がかかります。
ＫＶＭスイッチが接続されている場合には、ＫＶＭスイッチもResetがかかります。

5.8 KVMSW をご使用の場合について

異なるタイプのＣＲＴ コントローラを備える複数のサーバで使用すると、設定が同じでも画像の位置が違うことがあります。一般に解像度とリフレッシュレート（垂直周波数）はすべてのサーバで同じであるため、これらの設定に対応するパラメータの１種類のセットだけが、画面に対して記憶されます。画面上でずれた画像を修正すると、別のサーバでの表示が影響を受けることがあります。
ずれた表示を修正するには、次の設定を変更してください。

① 画像が正しく表示されないサーバのリフレッシュレートを別の値に設定します。
② 最適な画面表示を選択し、その設定を保存します。

一般に解像度に対して複数のリフレッシュレートを設定できるため、画面に対して複数のオプションを利用できます。

5.9　本装置の格納

モニタとキーボードが必要ない場合は、本装置をラックに格納することができます。

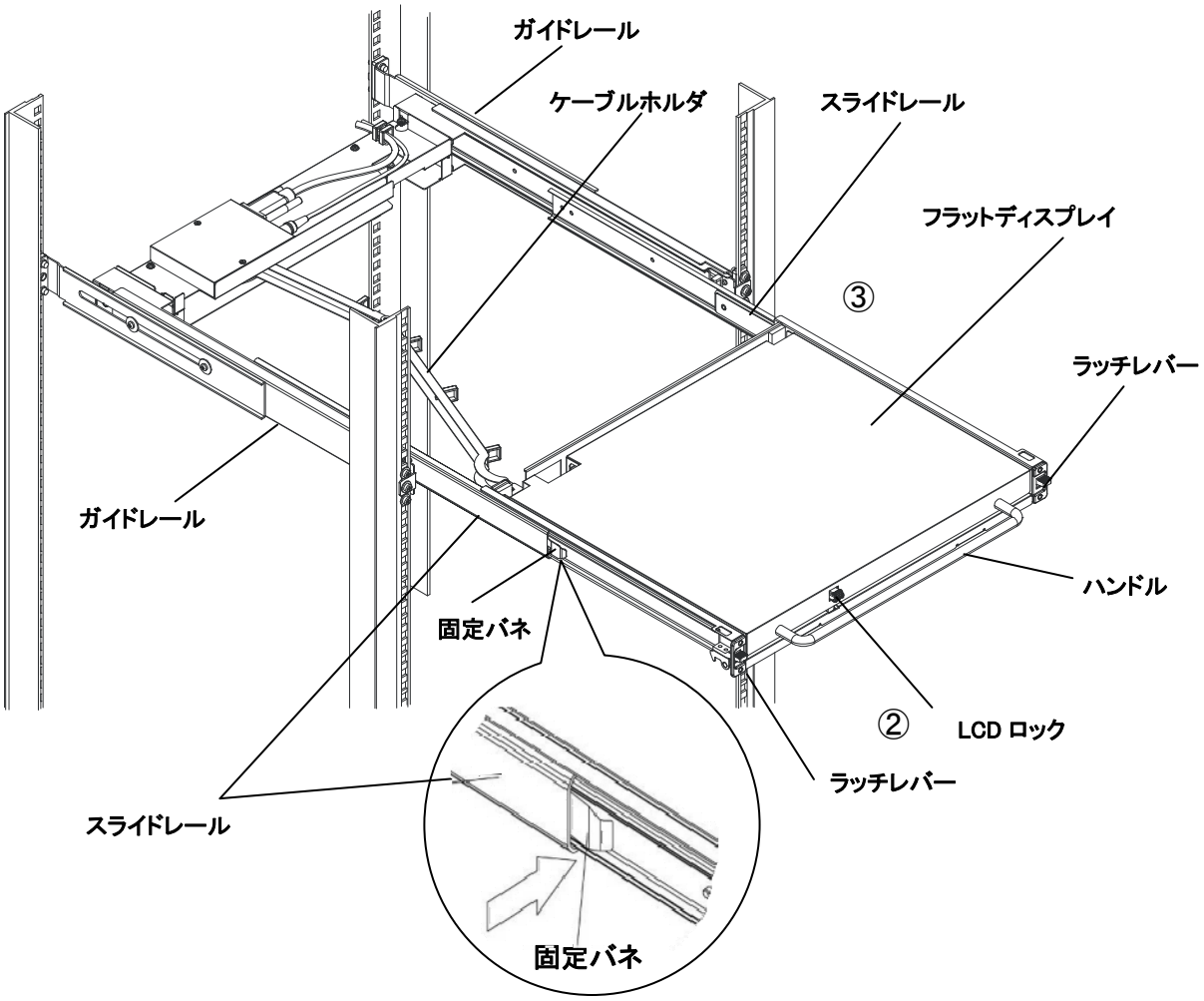
Point　本装置の出し入れはゆっくりとおこなってください。

① モニタの電源ボタンを押して、モニタの電源を切ります。
② ハンドルを持ってゆっくりとモニタ部を閉じます。ＬＣＤ ロックが掛かったことを確認します。
③ スライドレール両側の固定バネを押して本装置をラックに押し込みます。ラッチレバーが掛かったことを確かめます。

⚠ 注意

本装置を格納する場合、ガイドレールやスライドレール、本装置に指や手を挟まないように注意してください。
ラッチレバーが掛かっていないとラックを動かしたときに、本装置が出てくる場合があります。

Point　モニタをご使用にならないときは、省電力のためモニタの電源を切るかラックに格納することを推奨します。
本装置をラックに格納すると自動的にモニタの電源が切れます。


ガイドレール
ケーブルホルダ
スライドレール
フラットディスプレイ
③
ラッチレバー
ガイドレール
固定バネ
ハンドル
②
LCD ロック
ラッチレバー
スライドレール
固定バネ

装置本体押し込み図

6. 本装置のお手入れ

⚠ 注意	モニタの電源を切り、電源ソケットから電源プラグを抜いてください。 研磨剤を含む清掃剤やベンジン、シンナーなどの有機溶剤、消毒用アルコールは使用しないでください。 水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。液が内部に入ると、誤動作や破損の原因になります。

装置本体とモニタの筐体を乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときには、水に浸したやわらかい布をよく絞って拭きとってください。
ほこりはやわらかいブラシなどで払ってください。

キーボードとポインティングデバイスを清掃するには、殺菌した布を使用してください。

モニタ画面は、ガーゼなどの乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。ほこりはやわらかいブラシなどで払ってください。

7.技術仕様

型名(名称)：	FD-1500ATシリーズ

●電気仕様

定格電圧範囲：	100V AC
周波数：	50／60Hz
定格電流：	100V/0.8A
消費電力：	35W(80VA)/126kJ/h

●外形寸法

ドロワ部：	(W) × (D) × (H)
(1)スライドレール縮小時	445.4mm × 440mm × 43mm
(2)スライドレール伸張時	445.4mm × 870mm × 43mm
(3)(2)＋LCD 引き起こし時	445.4mm × 870mm × 370mm
電源ユニット部：	220mm × 130mm × 40mm

●質量	コンソールドロワ：12.5kg
	電源ユニット ： 1.0kg

●環境条件

温度：	使用時 5 － 35 ° C
	（使用時の結露は避けてください。）
	サーバの環境条件に準ずる

●モニタ

パネルタイプ：	17 インチ、TFT カラー液晶
解像度：	最大水平1280（ドット）×垂直1024（ライン）
ドットピッチ：	0.297 ×0.297mm
リフレッシュレート：	最大 75Hz
表示色：	最大 1,677万色
輝度：	250cd ／m^2
コネクタ：	ミニD-SUB 15 ピン（アナログRGB ）
消費電力：	最大34W 以下
	スタンバイ時 3.0W 以下
	バックライトの電源OFF 時 14.0W 以下

●キーボード

配列：	日本語
キー数：	87 キー
コネクタ：	ミニDIN 6 ピン（PS ／2 ）

●ポインティングデバイス

方式：	静電式タッチパッド
SW数：	3 ボタン
コネクタ：	ミニDIN 6 ピン（PS ／2 ）

8. トラブル対策

8.1　画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法
電源ランプが消灯している。	電源ケーブルが正しく接続されていない。または奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを正しく奥まで確実に接続してください。
	電源が入っていない	電源ボタンを押してください。
電源ランプがオレンジ色に点灯している。または MENU/ENTERボタンを押すと「POWER SAVING」のメッセージが表示される。	サーバがスタンバイ状態になっている。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。スタンバイ状態が解除されます。
	モニタケーブルがサーバ本体に、正しく接続されていない。	サーバ本体にモニタケーブルを正しく接続してください。
電源ランプが点灯するが、画面が表示されない。 場合によっては以下のメッセージも表示される。 「OUT OF RANGE H:***kHz V: H:***kHz SEE USER’S MANUAL」 「NO SYNC SIGNAL SEE USER’S MANUAL」	標準表示仕様以外の解像度とリフレッシュレートになっている。	サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度とリフレッシュレートに変更してください。
	サーバ本体より後に本製品の電源を入れた。	サーバ本体と同時またはそれ以前に本製品の電源を入れてください。
	ディスプレイケーブルが、サーバ本体に正しく接続されていない。	サーバ本体にディスプレイケーブルを正しく接続してください。

8.2　画面調節ができない

症状	考えられる原因	対処方法
AUTO/EXITボタンによる自動調整ができず、以下のメッセージが表示される。 「AUTO ADJUSTMENT FAILED SEE USE’S MANUAL」	画面全体が極端に暗い色に設定された状態で自動調整を行われた。	表示画面全体を出来るだけ白画面にして、AUTO/EXITボタンを押して自動調整を行ってください。
「UNSUPPORTED MODE SEE USE’S MANUAL」	標準表示仕様以外の解像度とリフレッシュレートになっている。	メニュー画面のインフォメーションにより、現在表示されている解像度とリフレッシュレートを確認し、サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。

8.3 画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法
格子状の表示画面がちらつく。	フォーカスが合っていない。	31ﾍﾟｰｼﾞを参照願います。
縦帯状の縞模様が見えることがある。	画面の調節が適切でない。	31ﾍﾟｰｼﾞを参照願います。
表示がはみ出る。 または、画面いっぱいに表示されない。	画面位置の調節が適切でない。	31ﾍﾟｰｼﾞを参照願います。
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。
画面が消えることがある。	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。
文字の太さが場所によって異なる。	フォーカス、クロックの調整が適切でない。	31ﾍﾟｰｼﾞを参照願います。
	1280X1024より低い解像度になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大処理しているので文字の太さが異なる場合があります。 最適な画面するには「画面のプロパティ」で解像度を1280X1024に設定してください。

8.4 マウス、キーボードが動かない

症状	考えられる原因	対処方法
キーボードが動かない	キーボード/マウスケーブルが正しく接続されていない。	キーボード／マウスケーブルを正しく接続してください。
	キーボードが認識していない	Reset SWを押してください。 それでも認識しない場合、11ﾍﾟｰｼﾞにしたがって、再度、ケーブル接続を行ってください。
マウスが動かない （カーソル、スイッチ）	マウスが認識していない。	
	キーボード/マウスケーブルが正しく接続されていない。	キーボード／マウスケーブルを正しく接続してください。

設定時における LCD 表示の注意事項

システム設置時、あるいは接続するサーバ変更時に接続するサーバの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、画面全体をできるだけ白画面にしてから、AUTO/EXIT ボタンを押して画面の自動調整をおこなってください。

＊ 自動調整後、下記症状がでる場合は下記「対処方法」により調整作業をお願いします。
＊ 下記症状は LCD パネルの不良ではありません。

症状	考えられる原因	対処方法
格子状の表示画面がちらつく。	フォーカスが合っていない。	FOCUS を調整してください。
縦帯状の縞模様が見えることがある。	画面サイズ（クロック）の調整が適切でない。	CLOCK の調整をしてください。その後 FOCUS も調整してください。
文字の輪郭がはっきり見えない箇所がある。	フォーカスが合っていない。	FOCUS を調整してください。
黒画面にサワサワノイズが見える。	黒レベルが合っていない。	BLACK LEVEL を調整してください。

＊ メニュー画面表示方法：MENU/ENTER ボタンを押して対処メニュー（OSD）を選択してください。

【対処メニューの機能内容】

メニュー画面の表示	機能
CLOCK	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。
FOCUS	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。
BLACK LEVEL	画面にサワサワとしたノイズが発生する場合に調整します。
RECALL	ご購入時の設定値に戻します。 READJUSTING ＝ 全項目を戻します。 GEOMETRY ＝ 表示している解像度の画面位置、クロック、フォーカスを戻します。 COLOR ＝ ブライトネス、コントラスト、黒レベル、カラー調整を戻します。

SERVIS™ Drawer Short 440mm [FD-1500AT シリーズ]

取扱説明書

発行日　　2009 年　1 月　第 1 版発行

発行責任者　富士通コンポーネント株式会社

Printed in Japan

● 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。

FUJITSU

この説明書は再生紙を使用しています。

NC14010-L571_04_090326